令和7年度　第2回　学校運営協議会　議事録

記録：片平　主幹教諭

■**日時**：令和　7年　7月　22日（火）　9:00～11:00

■**場所**：小金井第四小学校　視聴覚室

■**出席者**：

〇学校運営協議会委員

新保　佳子　会長　　山口　縁　副会長　　天野　達彦　委員　　日下部　順子　委員

杉山　雅楽子　委員　　杉山　孔宏　委員　　鈴木　由里　委員　　渕上　直美　委員

前田　　剛　委員　　服部　知郁　委員

〇学校職員

諏訪　伊都子　校長　　勝呂　創太　副校長　　小金井第四小学校教職員 31 名

〇傍聴者　1名

■**欠席者**：なし

1　校長挨拶

・昨年度から取り組んでいる「四小これだけは　言葉遣い」の実践報告を受け、学校と地域が連携して、この取組を更に発展させるための方法について熟議を行う。

・言葉遣いを意識することが「つよく　かしこく　あたたかく」という四小の教育目標につながると考えている。

2「四小これだけは　言葉遣い」実践報告

①　各学年の取組（例）

1年:　丁寧な言葉遣い（「～です」など）、挨拶の意識付け。

2年:　悪口・嫌なハンドサインの禁止、「ふわふわ言葉」の使用。

3年:「今、言っていい言葉か考える」ことの意識付け、夏休み明けの再確認。

4年:　暴言をなくす取組、相手に受け入れてもらう伝え方の実践、素直な受入れの意識付け。

5年:「ありがとう」など、増えてほしい言葉を考える、感じの良い言い方の理解の促進。

6年:　低学年のお世話を通じた「見本になりたい」意識付け、暴言をなくす目標の設定。

②　取組の実践からの気付き・課題

・学活などを活用し、子供たちが主体的に話し合うことで振り返りにつながっている。

・子供たちの中に「死ね」「きもい」「うざい」といった感情的で限定的な暴言の使用が目立つ。子供の語彙力不足が背景にある可能性がある。

・保護者も子供の言葉遣いの悪さを懸念しており、家庭との連携の必要がある。

・取組を通して子供たちが自分たちの言動を客観視し、修正できるようになってきている。

・感情的な言葉は、言われた側に長く残ることを意識させることが重要である。

・大人に対する敬意の薄れや、子供たちが気安く不満を口に出す傾向が見られる。

小金井市立小金井第四小学校　　「つよく　かしこく　あたたかく」

〒184-0014　東京都小金井市貫井南町 3-9-1　☎042-383-1144

３ 熟議

① 地域連携の現状と課題

1.現状

- ○ 既存の CS 活動（未来塾、楽しい四、ラジオ体操、見守りなど）は、地域との関わりの機会となっている。
- ○ 学校 HP の充実により、学校の取組や CS 活動が把握しやすくなっている。
- ○ 「知らない人とは話してはいけない」という意識から、地域住民が子供に声をかけにくい。

2.課題

- ○ 支援の必要なご家庭の活動への参加が少ない、保護者への情報周知が十分でない。
- ○ 自治会、町会への加入率低下など、地域での子育て文化が希薄になっている側面もある。

② 連携強化のための提案

1.イベントの活用と拡大

- ○ 地域のイベント（祭りなど）で、子供と地域住民が関わる機会を増やす。
- ○ イベントを通じて、自然と挨拶や言葉遣いを意識する機会を創出する。
- ○ 学童保育や通学路の見守りなど、既存の活動を引き続き重視する。

2.多様な大人との交流機会創出

- ○ 地域住民が講師を務める昔遊びや体験活動（図工での共同制作、昔の道具調べなど）を再開・継続する。
- ○ 異学年交流と地域住民との交流を組み合わせた活動を検討する。
- ○ SDGs の発表会など、子供たちが地域の方に成果を発表する機会を設ける。
- ○ 中学生ボランティアによる丁寧な言葉遣いの見本を示す機会を増やす。

3.言葉遣いに関するワークショップ・啓発活動

- ○ 子供だけでなく、地域住民も交えた「言葉遣い講座」を開催する。
- ○ 「聞いたことない言葉大会」など、言葉の面白さや大切さを考えるユニークな取組を実施する。
- ○ ことわざや格言など、昔から伝わる言葉の価値を子供たちに伝える。
- ○ 「これ以上は言ってはいけない」というラインを設け、子供の感覚を育む働き掛けをする。

4.家庭との連携強化

- ○ 保護者も意識的に家庭での言葉遣いを意識し、学校と家庭の両輪で取り組む。
- ○ 保護者への情報発信の分かりやすさ（まなびポケットの活用など）を改善する。

5.コミュニケーション能力の育成

- ○ 感情が高ぶった際に適切に伝える練習、語彙が少ない子供への言葉の経験を積み重ねる。
- ○ タブレット端末依存の傾向が見られる子供に対し、人と直接向き合う経験を増やす機会（視聴覚室での昔遊びなど）を提供する。
- ○ 「褒める」「褒められる」経験を意図的に増やすことで、相手を思いやる気持ちを育む。
- ○ 場面に応じた言葉遣い（丁寧語、フレンドリーな言葉遣いなど）を教える。

③ 熟議のまとめ

熟議を通して「うざい」「きもい」「死ね」といった子供の言葉遣いを改善し、状況に応じた適切な言葉を使うための語彙力と判断力を養うことの重要性が再確認された。さらに、学校だけでなく保護者や地域が連携し、子供たちが多様な大人と関わる機会を増やすことが言葉遣いだけでなく TPO をわきまえた行動やマナーの向上にもつながるとの共通認識が形成された。今後も無理なく長く続けられるかたちで連携を深めていきたい。

４ 事務連絡　次回　日時　令和 7年 9月 17日(水) 15時半～16時半
場所　小金井第四小学校 会議室等

小金井市立小金井第四小学校　「つよく　かしこく　あたたかく」
〒184-0014　東京都小金井市貫井南町 3-9-1　☎042-383-1144